

令和元年度外務省外交・安全保障調査研究事業

安全保障政策のボトムアップレビュー

令和2年3月



公益財団法人日本国際問題研究所
The Japan Institute of International Affairs

はしがき

2013 年末、日本政府は初めてとなる国家安全保障戦略を策定しましたが、その後も北朝鮮の核ミサイル能力の飛躍的な向上や、中国による現状変更の試みと国際秩序の攪乱、そして自国の利益を最優先とするアメリカの同盟政策の変化など、日本を取り巻く安全保障環境は一層厳しくなってきました。当研究所は、2017 年度に安全保障戦略の再検討を行う「安全保障政策のボトムアップレビュー」研究会を立ち上げ、3 年にわたって日本の安全保障戦略と防衛政策のあるべき姿を検討してきました。2018 年度には、同研究会で検討した内容に基づき、当研究所は国家安全保障戦略と防衛計画の大綱に向けた提言を行いました。そして、最終年度は日本政府の新たな防衛計画の大綱もふまえ、さらに検討すべき重要な課題について調査研究を実施しました。

本報告書は、今後日本政府が取り組むべき課題として、北朝鮮や中国の軍事的な脅威への対処に加え、新領域における防衛のあり方、日米同盟の強化、民主制度への干渉、地域協力の拡大などを取り上げ、政策へのインプットを目指しています。日本は国益を最大化するために、深刻化する環境に対応できる安全保障戦略を必要としており、それは単に自衛隊の体制だけの問題ではなく、国全体としての外交・防衛政策の見直しを迫るものがあるというのが当研究会の結論と言えるでしょう。

本報告書が今後の日本の安全保障戦略を考える上で一助となれば幸いです。なお、本報告書の内容は各委員個人の意見であり、所属する組織を代表するものではないことを付け加えます。

令和 2 年 3 月

公益財団法人 日本国際問題研究所理事長
佐々江 賢一郎

研究体制

主査	徳地 秀士	政策研究大学院大学シニアフェロー	
委員	秋本 茂雄	海上保安協会理事長	
	磯部 晃一	ハーバード大学アジア・センター研究員、 川崎重工業戦略顧問、元陸将	
	小原 凡司	笹川平和財団上席研究員	
	神谷 万丈	日本国際問題研究所客員研究員、防衛大学校教授	
	佐橋 亮	東京大学准教授	
	下平 幸二	A&S コンサルティング代表、元空将	
	神保 謙	慶應義塾大学教授	
	高橋 杉雄	防衛研究所政策シミュレーション室長	
	鮎田 英一	鹿島建設顧問、元海将	
	村野 将	ハドソン研究所研究員	
	森 聡	法政大学教授	
	委員兼幹事	中山 泰則	日本国際問題研究所所長代行
		中野 大輔	日本国際問題研究所研究調整部長
小谷 哲男		日本国際問題研究所主任研究員／明海大学教授	

(敬称略、主査以降五十音順)

目 次

はしがき

研究体制

総論 安全保障政策ボトムアップレビュー研究会を振り返って

—研究会提言と日本の国家安全保障戦略—

徳地 秀士 ……1

第1章 日米同盟

—2015 日米ガイドライン及び 2018 防衛大綱策定以降の同盟の実効性向上
の観点から見た課題—

磯部 晃一 …… 11

第2章 日米同盟のこれから

—同盟強化と対米依存度低減をいかに両立させるか—

神谷 万丈 …… 23

第3章 「自由で開かれたインド太平洋」における安全保障協力

～海洋秩序維持・強化の観点から

鮎田 英一 …… 39

第4章 インド太平洋における海上保安分野の連携・協力・支援

秋本 茂雄 …… 51

第5章 対北朝鮮政策

下平 幸二 …… 63

第6章 中国に対する政策	小原 凡司 …… 75
第7章 政治工作活動と日本の備え	佐橋 亮 …… 87
第8章 「新領域」と日本の安全保障	高橋 杉雄 …… 99
第9章 米中による宇宙ドメインの軍事利用と日本の課題	森 聡 …… 109
第10章 将来戦における米空母の有用性をめぐる議論 —ゲームチェンジャー技術と安全保障政策	小谷 哲男 …… 121